### 国際シンポジウム

# 医学・医療における 男女共同参画に向けたアクションプラン

## Active Programs for Gender Equality in Medicine

座長: 大熊 由紀子 氏 (国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野 教授) 上田 真喜子 氏 (大阪市立大学大学院医学研究科 病理病態学 教授、女性医師・看護師支援センター長)

- 平成21年12月5日(土)
- **3** リーガロイヤルホテル ロイヤルホール



同時通訳

付き

I 基調講演 (14:00-14:45)

#### 「スウェーデンにおけるアクションプラン」

#### 「男女共同参画における大学のリーダーシップ」

"Academic Leadership in a Gender Perspective"

イングリッド・ルンドベルグ 氏 (スウェーデン、カロリンスカ大学医学部、内科・リウマチ学 教授)
Professor Ingrid E. Lundberg (Department of Medicine, Rheumatology Unit, Karolinska Institute, Sweden)

Ⅲ 講演 (14:50-15:30)

#### 「日本におけるアクションプラン」

1 14:50~15:00 「医学・医療における男女共同参画と ワーク・ライフ・バランス」

"Gender Equality and Work-Life Balance in Medical Fields"

回15:00~15:10「男性の育児休業を通して見えてきたこと」

"Dad's Dilemma during Child Care Leave"

3 15:10~15:20 「日本の医療体制と女性医師支援」

"Medical System Reform and Women Physicians in Japan"

4 15:20~15:30 「女性医師のキャリアと子育ての両立支援」 "Career and Child-Care Support for Women Doctors"

板東 久美子 氏

(文部科学省、生涯学習政策局長)

山田 正人 氏 (経済産業省、中小企業庁、事業環境部調査室長)

桃井 眞里子 氏

(自治医科大学、小児科学主任教授、女性医師支援センター長)

上田 真喜子 氏

(大阪市立大学大学院医学研究科、病理病態学 教授、 女性医師・看護師支援センター長)

#### 

(15:30-16:30)

#### 「医学・医療における男女共同参画:未来に向けて何をすべきか?」

Gender Equality in Medicine: What Should We Do for the Future?

座 長: 大熊 由紀子 氏(国際医療福祉大学大学院 教授)

上田 真喜子 氏 (大阪市立大学大学院医学研究科 教授、女性医師・看護師支援センター長)

パネリスト: Ingrid E. Lundberg 氏 (カロリンスカ大学医学部 教授)

板東 久美子 氏(文部科学省 局長) 山田 正人 氏(経済産業省 室長)

桃井 眞里子 氏 (自治医科大学 主任教授、女性医師支援センター長)

同時通訳付き

#### ■ 意見交換会(大阪市女性医師ネットワーク 主催)

リーガロイヤルホテル 菊の間(16:30-18:30)

託児ルームを準備しております。ご希望の方は事前の申し込みをお願い致します。

#### お問合せで参加をご希望の方は下記にお問い合わせください。

大阪市立大学医学部附属病院 女性医師・看護師支援センター センター長 上田 真喜子 (大阪市立大学大学院医学研究科 病理病態学 教授) TEL: 06-6645-3744 FAX: 06-6646-6066

| E-mail: maki@med.osaka-cu.ac.jp

主催:大阪市立大学医学部附属病院 女性医師・看護師支援センター 後援:大阪府医師会、大阪市立大学医学部医師会